

ニコニコ箱・米山奨学金・ロータリー財団報告

ニコニコ箱

前期をおえてありがとうございます。(荒本秀一)
 ようやく上半期が終わります。下半期もよろしくお願ひ致します。

(木村憲一)
 前期をおえてありがとうございます。(品谷義雄)
 一旦、退会しますが、再度入会させていただきます。今後とも
 宜しくお願い申し上げます。(清水正一)

赤田様の卓話に感謝して。(藤井健夫)
 クリスマス家族会、大盛会でした。(水田 基)
 赤田様、卓話ありがとうございました。(宮嶋良夫)
 2011年の最終例会ですね。1年間ありがとうございました。
 (渡辺和男)

【誕生祝】横山強志、林 正岳
 【結婚記念日御祝】奥村隆司

各 君

米山奨学特別寄付金

前期をおえてありがとうございます。(荒本秀一)
 皆さん米山に協力しましょう。(吉岡正巳)
 吉岡元米山委員長と同席して。(吉田清二)
 各 君

ロータリー財団増進特別寄付金

酒井哲夫、林 正岳、増田善宏、宮崎為夫
 前期をおえてありがとうございます。(荒本秀一)
 赤田様を卓話に迎えて。(北島 恬)
 清水正一会員の再入会のニュースうれしいです。(清水嗣能)
 清水さんのとなりに座りました。(玉木 洋)
 先日のクリスマス例会、親睦委員会のご活躍に感謝して。
 (宮崎茂和)
 各 君

寄付金の状況

	12月22日分	累計
ニコニコ箱	25,000円	1,622,850円
米山奨学金	6,000円	334,000円
ロータリー財団	18,000円	378,070円

ありがとうございました。

ビジター受付

- 1月13日(金) 福井西
- 1月20日(金) 福井あじさい
- 1月24日(火) 武生 ビジター受付なし
- 1月26日(木) 武生府中
- 1月31日(火) 若狭

次回の例会

2012年 1月19日(木)

- 会場:ユアーズホテルフクイ
- 理事/例会
- 開会点鐘:12時30分 栄誉行事/会員卓話(鎌田浩二会員)
- 閉会点鐘:13時30分

事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号 加藤ビル5階 TEL:0776-25-0633 FAX:0776-24-8622
 例会場 ユアーズホテルフクイ 4F TEL:0776-25-3200
 クラブ会報委員会 委員長:宮嶋良夫 副委員長:坂本篤 委員:奥村隆司・中広久・後藤太郎
 ホームページ <http://www.fukui-rotary.com/> E-mail info@fukui-rotary.com
 創立 昭和25年11月1日(1950年) 承認 昭和25年12月4日(承認No.7647) 例会 毎週木曜日12:30~13:30

現在会員数
107名

福井ロータリークラブ会報

R.I. DISTRICT 2650
 ROTARY CLUB of FUKUI
 2011-2012
 WEEKLY BULLETIN

2012年1月12日
 第2071号(2227)

2011-2012 RI テーマ:「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

R.I. 会長
 カルヤン・パネルジー



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

R.I. 第2650地区ガバナー
 今西 信裕



良き伝統を守り、新しいロータリーに挑戦しよう

理事・役員

会長(理事)	北島 恬	副会計	市橋加奈子	(理事)クラブ奉仕担当	加藤 幹夫
副会長(理事)	野村 直之	S.A.A	山本 啓史	(理事)職業奉仕担当	酒井 哲夫
直前会長(理事)	藤井 健夫	副 S.A.A	市橋 信孝	(理事)社会奉仕担当	橋本 泰久
幹事	木村 憲一	副 S.A.A	橋脇 典子	(理事)国際奉仕担当	石橋 正人
副幹事	渡邊 義信	(監事)	吉田 清二	(理事)新世代担当	須賀原和広
会計	大森 正男	(監事)	野尻 章博		

本日の例会

2012年1月12日
 第3022回

新年会(移動夜間例会)

登録受付:17時30分

例 会:18時00分~

新年会:18時30分~

今後の予定

- 1月19日(木)
 理事会/例会
 栄誉行事
 会員卓話(鎌田浩二会員)
- 1月26日(木)
 総会/クラブ協議会
- 2月2日(木)
 栄誉行事/会員卓話

福井ロータリークラブ 60年の歴史

歴代会長

会報等に記された歴代会長の
 活動方針などを掲載しています



清水 慶造

第50代 (1999~2000 平11)



菅原 将高

第51代 (2000~01 平12)

■ 清水 慶造

地域社会のニーズに取り組む奉仕活動を中心に、職業を通じて、又国際的にバランスのとれた奉仕プログラムを行う重要性を認識して、今日迄先輩達が築き上げられた、尊い実績に飛躍発展に取り組みたい。余り高い目標を目指すのではなく、着実に奉仕活動を全会員にして頂いたという一年にしたい。

■ 菅原 将高

福井ロータリークラブ創立50周年という大きな節目の年である。R.I.会長フランク・J・デブリン氏は、Creat Awareness, Take Action「意識を喚起して、進んで行動を!」と掲げているが、大変難しいことである。21世紀の扉をまさに開かんとする今、来る21世紀で福井ロータリークラブは、どこへ行こうとしているのか。どうあるべきか。次の25年、50年に備えて、真剣に考えて行きたい。

例会報告

2011年12月22日 第3021回 例会

● 現在会	112名	● メークアップ	
● 出席者	63名	● 増田善宏 (12/11RLIパートIII研修会)、品谷義雄 (12/13福井南)、村井勝 (12/14東京、12/19福井東、12/20福井南、12/21福井北)、酒井哲夫 (12/16福井西)、後藤太郎 (12/16福井あじさい、12/20福井南、12/20福井フェニックス、12/21福井北)、宇野良二 (12/16福井あじさい、12/21福井北)、荒本秀一 (12/16福井あじさい)、小森富夫 (12/17地区)、竹内由男 (12/20福井南)、菅原将高 (12/20福井南)、小酒井好信 (12/20福井南) 各君	
● 今回例会出席率	58.3%		
● 届出欠席者	49名		
● 無届欠席者	0名		

会長挨拶



皆様こんにちは。先週15日はご家族・IAC・RAC約140名によるにぎやかなクリスマス家族会が開催され、大変なにぎわいの中楽しい例会ができました。親睦委員長油谷さんのリーダーシップのもと、多彩なアトラクションが繰り広げられ、若い息吹が大きく羽ばたいていたようです。音響・照明など含めプロ並みの企画をさせていただき、12月のロータリーテーマ【家族月間】にふさわしく、大変ご苦労さまでございました。親睦委員会並びに関連委員会の皆様に厚くお礼申し上げます。もう早年末ですが、本日からぐっと寒さが増すとの予報が出ておりますが、皆様におかれましてはご自愛のうえ、良き新年をお迎えになられますよう願ひ挨拶いたします。

地区からの報告



修了書授与

野村直之会員にリーダーシップ研究会 RLI Part3 の修了書授与。

報告

地区より、宮崎茂和会員、清水慶造会員に委員長就任の依頼があり、お二人とも快諾されました。

退会のご挨拶



清水正一会員

本日退会あいさつではあるが、次の会社でも福井 RC に入会することができることとなった。本日一旦退会しますが、1月に再度入会申込書を出させていただきます。

幹事報告

- 12月末で、栄月平会員、浮田啓三会員、石森哲夫会員が退会予定。この後の理事会にて決定する。
- 水上二郎会員の取り扱いも、この後の理事会で決定する。
- 事務局休業案内 12月28日～1月4日
- 次回は1月12日(木)リバージュアケボノさんで夜間例会。

委員会報告



岩下春幸ガバナー補佐

国の第三次補正予算案が通り、これから復興に向けて東日本が動き出す。地区として3年に渡ってファンドをつくり、支援をしていきたい。そのため一人当たり1万円の寄付をお願いしたい。震災が風化しつつある中で、これからが復興の本番である。皆さん方には、ぜひ寄付のお願いと福井 RC にも何か動きをおこして頂きたい。

ロータリー豆知識

第24回

ロータリー理解推進月間
Rotary Awareness Month

RI では毎年1月をロータリー推進月間に指定している。これは対外的には広報活動を通じて、対内的にはロータリー情報集会、討論、セミナーを通じてロータリーを推進するものである。

卓話



「東日本大震災復興関係の予算について」

財務省福井財務事務所長 赤田陽子様

東日本大震災の復旧・復興関係予算については、5月、7月、11月と三次に亘る補正予算が組まれ、11月30日には臨時増税を盛り込んだ復興財源確保法が成立しました。その概要について、簡単に話をさせていただきます。

「東日本大震災から復興の基本方針」では、復興期間は10年間とし、当初の5年間を集中復興期間と位置づけ、集中復興期間における事業規模を国・地方を合わせて少なくとも

19兆円としています。

この財源としては、1次・2次補正で6兆円を確保しておりますが、これは国債を追加発行することなく、歳出の見直しなどにより確保しました。

もう少し細かくみますと、1次補正4兆円の財源については、子ども手当上積み見直しや高速料金割引の見直しなどの歳出の見直しによるほか、年金臨時財源2.5兆円を活用しております。この年金臨時財源については、当初予算編成時、基礎年金国庫負担割合2分の1を維持するための財源として鉄道運輸機構国庫納付1.2兆円、財政投資特別会計剰余金1.1兆円等の計2.5兆円で賄われたもので、後の3次補正の復興債で補てんすることとされました。また2次補正2兆円の財源については、平成22年度決算剰余金により確保しております。

さらに、「復興財源の基本方針」では、公務員人件費の見直しやJT株式の売却などの歳出削減と税外収入により5兆円程度確保することを前提に時限的な税制措置を講じるとされ、19兆円から1次・2次補正の財源6兆円と前述の5兆円を差し引いた8兆円に、復興債で補てんすることとされた年金臨時財源2.5兆円及びB型肝炎対策のうち税制上の措置としての必要額0.7兆円を加えた11.2兆円を税制措置により確保することとされました。

なお、今後10年間でさらなる歳出削減や税外収入により2兆円の確保を想定しており、結果として9.2兆円の増税措置が必要となります。

これらを受け、11月30日成立した復興財源確保法では、増税による復興財源は、所得税、法人税、地方税(個人住民税)で確保することとされました。

復興特別所得税は、年間2.1%、平成25年1月から25年間の税率上乗せとなっており、これにより7.5兆円を見込んでいます。また復興特別法人税は、年間2.1%、平成24年1月から3年間の税率上乗せすることにより、全体で2.4兆円を見込んでいます。ただし、法人税については、23年度税制改正法案で、実効税率で5%を引き下げることとなり、引き下げた後付加することとなります。

個人住民税については、均等割を年1,000円、平成26年6月から10年間上乗せすることにより、全体で0.6兆円を見込んでいます。このほか、現在審議中の23年度税制改正の給与所得控除等の見直しによる、0.7兆円を加えると、全体で11.2兆円を確保できることとなります。

現在、これらに加えて、「社会保障と税の一体改革」で消費税が議論されており、年内に素案を取りまとめることとなっております。国民の皆様には、これら負担について、ご理解をいただきたいと思っております。

第7回 2011-12 理事役員会議事録

■ 2011年12月22日 13:45～14:45 加藤ビル 3F会議室

■ 出席者 北島恬・木村憲一・野村直之・大森正男・橋本泰久・石橋正人・市橋信孝 各君
役員・理事総数 17名 出席者数 7名 (欠席者から会長もしくは幹事への委任がなされています。)

1. 定款・細則・内規の改正の件

クラブ事務取扱内規の第6条第2節関係の改定に関して、元会員の定義については再度規定・管理委員会にて協議する。元会員の再入会までの期間はその都度理事会にて決める。その他の改正については承認とする。

2. 退会届について

3名については承認した。(栄月・浮田・石森会員)
1名についてはクラブ定款に従い処理する。

3. その他

グリーンビルの義援金は陸前高田ロータリークラブに送金する。後期納入金案を承認した。クリスマス家族会のオークション収入金(45,000円)は、特別会計のニコニコ箱収入に計上する。次回理事会日は、上半期会計報告の都合上1/19(木)とする。事務局の年末・年始休業期間は12月28日(水)から1月4日(水)とする。